

2016年理学部第3問

 数理  
石井K

3  $n$  を正の整数とする。1 から  $6n$  までの番号がつけられた  $6n$  枚のカードから 2 枚を同時に選び、選んだ 2 枚の番号の積を  $X$  とする。  $X$  が 3 の倍数となる確率を  $P_n$ 、  $X$  が 6 の倍数となる確率を  $Q_n$  とする。次の問いに答えよ。

- (1)  $P_1$ ,  $Q_1$  をそれぞれ求めよ。  
 (2)  $P_n$  を  $n$  を用いて表せ。  
 (3)  $Q_n$  を  $n$  を用いて表せ。  
 (4)  $\lim_{n \rightarrow \infty} P_n$ ,  $\lim_{n \rightarrow \infty} Q_n$  をそれぞれ求めよ。

(1)  $P_1 = 1 - (\text{X が 3 の倍数とならない確率}) \cdots (*)$

$$3 \text{ の倍数でないカードは } n=1 \text{ のとき 4 枚あるから, } P_1 = 1 - \frac{4C_2}{6C_2} = 1 - \frac{6}{15} = \frac{3}{5}$$

$$(\text{X が 6 の倍数とならない確率}) = (\text{X が 2 の倍数とならない確率}) + (\text{X が 3 の倍数とならない確率}) \\ - (\text{X が 2 の倍数でも 3 の倍数でもない確率}) \cdots (**)$$

$$= \frac{3C_2}{6C_2} + \frac{4C_2}{6C_2} - \frac{2C_2}{6C_2}$$

$$= \frac{3}{15} + \frac{6}{15} - \frac{1}{15}$$

$$= \frac{8}{15}$$

$$\therefore Q_1 = 1 - \frac{8}{15} = \frac{7}{15} \quad \text{以上より, } P_1 = \frac{3}{5}, Q_1 = \frac{7}{15} //$$

(2) (\*) のように考えると,

$$P_n = 1 - \frac{4nC_2}{6nC_2} = 1 - \frac{2n(4n-1)}{3n(6n-1)} = \frac{10n-1}{3(6n-1)} //$$

(3) (\*\*) の右辺は次のようになる。

$$(\text{右辺}) = \frac{3nC_2}{6nC_2} + \frac{4nC_2}{6nC_2} - \frac{2nC_2}{6nC_2} = \frac{\frac{1}{2} \cdot 3n(3n-1)}{3n(6n-1)} + \frac{2n(4n-1)}{3n(6n-1)} - \frac{n(2n-1)}{3n(6n-1)} = \frac{21n-5}{6(6n-1)}$$

$$\therefore Q_n = 1 - \frac{21n-5}{6(6n-1)} = \frac{15n-1}{6(6n-1)} //$$

$$(4) \lim_{n \rightarrow \infty} P_n = \lim_{n \rightarrow \infty} \frac{10 - \frac{1}{n}}{3(6 - \frac{1}{n})} = \frac{5}{9} //$$

$$\lim_{n \rightarrow \infty} Q_n = \lim_{n \rightarrow \infty} \frac{15 - \frac{1}{n}}{6(6 - \frac{1}{n})} = \frac{5}{12} //$$